

横浜市福祉サービス第三者評価 評価結果総括表（保育分野）


事業所	横浜市釜利谷保育園
報告書作成日	平成29年2月15日（評価に要した期間 約4か月）
評価機関	公益社団法人 けいしん神奈川




評価方法

自己評価 （実施期間：28年10月5日 ～ 28年12月9日）	職員が領域ごとに自己評価票を作成し、その結果を職員全員で検討、話し合いの後、全体を集約した。
評価調査員による評価方法 （実施期間：29年1月11日、19日）	評価調査員（2名）が現地視察、書類確認、職員面接ヒアリング調査（園長、主任、保育士）を行った。職員ヒアリングは2日目の午睡時に乳児担当と幼児担当の2グループ別を実施した。
利用者家族アンケート実施方法 （実施期間：28年10月10日 ～ 11月15日）	全利用者（園児）の保護者に事業者から手渡し、無記名にて記入していただき、クラスごとに回収した。
利用者本人調査方法 （実施日：29年1月11日、19日）	観察調査は、主に各クラスおよび園庭にて実施した。聞き取り調査は、幼児を中心に、保育中（昼食時を含む）に実施。

評価結果

評価領域Ⅰ 利用者（子ども本人）の尊重

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>I-1 保育方針の共通理解と保育課程等の作成</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・園目標に「自分が大好き、友だち大好きーのびのび、いきいき元気な子ー」を掲げ、子どもを第一に考え、全職員にも周知され、保育課程をはじめ、諸計画の原点になっています。 ・年度末に基本方針や保育理念、保育課程、保育目標の振り返りを行っています。年度ごとに職員で話し合い、具体的テーマを決め、保育方針の着実な実現に向けた取り組みがなされています。 ・保護者に向けては、保育園のしおりに保育理念、保育目標を記載するとともに、入園説明会、年度当初の懇談会で丁寧にわかりやすく説明しています。 ・保育課程は子どもの最善の利益を考えて作成、全職員の意見が反映されるようにクラス会議、職員会議で検討の時間を十分に取っています。 ・日常の保育は、保育課程をはじめ諸計画に基づき、子どもの主体性を大切にして、子どもの心を受け止める保育が実践されています。日頃の保育を行事へと繋げ、子どもたちのアイデアや考えを取り入れて保育を組み立て、指導計画に反映しています。

<p>I-2 子どもの 発達や状況に応じ た適切な援助の実 施</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・入園説明会前に「入園前記入表」を送付し、これをもとに保育士や調理員が個人面談を行い子どもの発達状況や家庭状況などを把握するとともに、入園説明会での子どもの様子を観察して職員間で共有しています。必要な場合は、保健師やケースワーカーと連携をとっています。 ・新入園児受け入れにあたっては短縮保育を行い、状況の把握と情報の共有に努め、愛着のある、タオル、ぬいぐるみなどを持ってこることも受け入れて、無理なく安定を図っています。 ・保護者に対しては、クラスノートや写真の掲示、個人ノートにより子どもの様子を伝え、送迎時には保護者と積極的に言葉を交わして、保育中の子どもの様子を伝えています。
<p>I-3 快適な施 設環境の確保</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・園舎は屋内外ともに気持ちよく掃除がなされています。 ・室内各部屋に、湿度計や温度計が設置され、エアコンを使用して、適切な環境になるように配慮しています。 ・遮光ネットやすだれ、グリーンカーテンの栽培等で、日差しを直接受けしない工夫をしています。 ・トイレについては清掃マニュアルがあり、毎日2回清掃し清潔に管理されています。 ・外から入れるトイレがあり、温水シャワーが設置され、夏場のプール遊びの前後にしっかりと体やおしり洗いができます。冬場の外遊び後の足洗いでは、温水で足がしっかり洗えるように外水道に温水シャワーを設置し、清潔が保てるようにしています。 ・各保育室は十分なスペースがあり、食事と睡眠のスペースを分けて使用しています。朝夕の保育では1,2歳児3,4,5歳児がそれぞれ一緒に遊び、交流ができています。また、回廊のスペースも広く自由に交流できるスペースがあります。
<p>I-4 一人一人 の子どもに個別に 対応する努力</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・3歳未満児は個別に指導計画を作成し、幼児については課題がある場合には個別指導計画を作成しています。 ・配慮が必要な子どもには、個別の計画と自己評価を期ごとに行い、また、行事の参加の仕方を保護者と相談したり、本人の頑張りや丁寧さを伝えたりしています。個人日誌を毎日書き、記録にして成長発達を把握できるようにしています。また、南部療育センターの巡回相談を受け指導計画に反映させています。 ・保護者の思いや個別の課題を個人面談で共有し、記録を残すとともに個別指導計画に反映させています。 ・子ども一人ひとりの発達に応じた対応としては、ミーティング記録ノートで、職員全員が必要な情報を共有し、進級時はクラスごとの引き継ぎを行うほか、配慮を必要とする子どもについては丁寧に申し送りを行っています。 ・入園前の子どもの状況・要望は児童票に記載され、入園後の成長記録は経過記録に記載し、各種記録は事務室にて一括保管・管理され職員誰もがみられるようになっています。 ・年長児は保育所児童保育要録を就学先の小学校へ送付し、また必要があれば直接就学先の学校との面談を行うようにしています。 ・健康については健康台帳に記載し、年1回予防接種や病歴等の更新をお願いしています。
<p>I-5 保育上、特</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・特に配慮を要する子どもを受け入れ、保育する上で必要な情報が職員間で共有されています。 ・除去食は、前日の夕方、当日の朝のミーティングで2回確認しています。

に配慮を要する子どもへの取り組み




- ・アレルギー、障害児の資料等は書庫に保管され、情報を共有できるようにしています。
- ・個別のケースについては、カリキュラム会議などで話し合い記録しています。
- ・ミーティングで話し合われたことは、全員が把握できるように記録を見るようにしています。
- ・健康については健康台帳に記載してあり、いつでも見ることができ、けいれんなど、個別の対応については体質個別一覧表にまとめて表示しています。
- ・障害児保育については、園舎は総平屋建てでバリアフリーの環境になっていて、トイレも多目的に利用できるようスペースをとっています。障害の認定を受けている子には一人ひとりに合わせて、個別指導計画個別日誌を作成し、会議で話し合い、記録もしています。
- ・障害児の研修は区や局で行われており積極的に参加し、最新の知識を得ています。また研修報告を行い、情報を共有し活かしています。
- ・南部療育センターとは巡回相談などで連携し、障害児保育についてアドバイスをを受けたり、センターの研修に参加したりして、保育に活かしています。
- ・虐待については、「虐待防止マニュアル」があり、園内研修で全職員に周知を図っています。見守りが必要な家庭については区役所や保健師と連携して、緊急度が高いときは、児童相談所や区役所に連絡しすぐに対応できる体制を整えています。
- ・気になるケガなどは記録をとり、必要に応じ保健師に家庭訪問をしてもらっています。また、人権研修に参加し、人権の意識を高めています。
- ・アレルギー疾患のある子どもへの対応は、横浜市統一の書式（管理表）を使い、医師からの指示をもとに除去を行っています。保健所のマニュアルに基づき、除去するかしないかのどちらかが明確になったことを受けて、保護者説明をしています。
- ・アレルギー対応図を作成し、複数確認をしてから配膳、専用のテーブルを利用しミーティングで2度確認しています。
- ・エピペンの使い方やアレルギーマニュアルについての講習会に参加すると共にヒヤリハットや事故報告を回覧し、職員に周知しています。
- ・外国籍や帰国子女など、文化の異なる子どもに対しては、多言語の入所案内があり、必要があれば、保育園側で通訳を申し込むことができます。


I-6 苦情解決体制






- ・保護者の要望や苦情に対しては、入園の際に第三者委員制度の説明をし、第三者委員の方を行事にお招きし、保護者との顔の見える関係づくりをしています。
- ・意見箱を設置し、また、行事後にアンケートを行い、懇談会や個別面談の際に、要望や意見を聞く機会を設け保育に活かしています。
- ・要望や苦情に対しては、すぐに面談をし、必要な手立てをしています。ミーティングや会議で職員に伝え周知し、こども家庭支援課とも情報を共有し、区としての考えや対応のアドバイスをもらっています。
- ・意見箱に入れられた意見に対しては対策を講じ、保護者全体に周知しています。

評価領域Ⅱ サービスの実施内容

評価分類	評価の理由(コメント)
<p>Ⅱ-1 保育内容</p> <p>[遊び]</p> 	<p>[遊び]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デイリープログラムがあり、自由に遊べる時間を設定しています。 ・おもちゃの分類をして表示をつけ、子どもたちが自由に出せるようにわかりやすくし、子どもが手に取れる高さの玩具棚を使っています。また、季節や発達により入れ替えもしています。 ・戸外ではテーブルやゴザを出して、自分のスペースを工夫して遊べる空間を設定し、天候や遊びの状況に合わせ、回廊で紙芝居や、ままごとが楽しめるように環境を整え、ジャバラ、衝立などでスペースの工夫もしています。 ・夏は遮光ネットを張り、涼しく遊べるように配慮しています。 ・遊びが一斉活動に偏らないように好きなものから、集団遊びに取り入れ、遊びの見つからない子に対しては、保育士も一緒に遊びを楽しみ、自ら遊びが見つけていけるよう援助しています。 ・普段の遊びから、園の様々な行事に繋げていけるように各クラス工夫して、楽しんで遊び、発展できるように遊具をそろえたり、環境を整えたりしています。 ・園庭には実のなる木や植物がたくさんあり、自由な発想で遊べる環境があります。 ・恵まれた自然環境を活かし、動植物の飼育や栽培・園外活動など自然に触れたり、地域や社会に関わる体験が取り入れられています。大川公園の清掃活動、メダカの飼育や栽培活動を通し、社会の一員であるとの意識や生命に対する興味を広げ、慈しみの心を育てています。 ・絵や文字、歌やリズム、からだを動かすなどの体験を通して、自分の気持ちを自由に表現できるよう配慮されています。4、5歳児クラスでは様々な素材や自由に取り出して使える道具箱が用意されています。各クラス、作品を展示し、子どもの作品に名まえやマークをつけて、子どもたち、保護者にわかりやすいようにしています。 ・異年齢でのリズム遊びを計画的に行い、乳児クラスでは自由に歌を歌ったり、体を揺すったりして、楽しめる雰囲気作りをしています。具体的な事例として、5歳児クラスは、ピアノを自由に出して楽しめるようにしています。 ・絵本を題材に、子どもが自発的にごっこ遊びを楽しめるような、年齢に合わせ、環境作りをしています。 ・遊びを通して子ども同士の関係や保育士との関係が育つよう配慮されています。園全体でのリズム運動、異年齢での散歩、園全体での行事や誕生会など、みんなで祝い、一緒に楽しむことを通し人間関係が育まれています。 ・散歩の機会をできるだけ増やしたり、鉄棒やジャングルジム、なわとび、ボール、古タイヤが身近にあることで、様々な動きが経験できるようにして積極的な健康増進を図っています。夏はプール遊びや泥んこ遊びも取り入れています。 ・暑い時期はシャワーや着替えを積極的に行い、肌の健康を保っています。蚊取り線香、ベープ、網戸を使用し、虫よけに配慮し、日よけ帽子遮光ネット木陰縁側の利用水分補給は季節に合わせて留意しています。 ・既往歴については、職員間で共有し、子どもの様子や職員の対応などに

	<p>ついて情報を共有し、職員全体で子どもを見る体制を作っています。</p>
<p>Ⅱ－１ 保育内容</p> <p>[生活]</p> 	<p>[生活]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・担任と調理員で給食会議を持ち連携し、子どもが好きなメニューや盛り付け方法、関心事、雰囲気作りなどについて話し合い、食事を豊かに楽しむため、いろいろと工夫をしています。 ・旬の食材を取り入れたメニューや見た目に季節に合った盛り付け（水ようかんの型ぬき等）をして、楽しめるようにしています。行事の時などは雰囲気を感じられるような、盛り付けの工夫もしています。 ・子ども向けの献立「ぱくぱく便り」を掲示し食への意欲や興味に繋げています。栄養素についても関心が持てる取組みを進め、5歳児クラスには栄養表を掲示しています。食事のサンプルを保護者がみられるように、毎日用意し、人気のメニューのレシピを自由に持ち帰れるように置いてあります。 ・食事の挨拶や当番活動を通して食事の仕方やマナーについてもしっかりと伝えていきます。喫食状況や残の量の共有をミーティング等でしています。 ・年齢に合わせて、食器の大きさや箸の長さを変え、量を調節できるよう、減らし皿を用意し、また、給食会議で食具の確認をしています。 ・月1回の異物混入マニュアルを読み、全職員で確認をし、調理員は調回の異物混入マニュアルを読み、全職員で確認をし、調理員は調理開始時に身だしなみのチェックを行い、異物混入を防止しています。 ・子どもの喫食状況を把握して、献立の作成・調理の工夫に活かしています。調理担当者が子どもたちの食べている様子を見に行き、把握し記録し、その日の献立についてミーティングで話し合い、調理員と確認しています。横浜市の献立検討会の報告を参考に、調理業務に活かしています。 ・献立表を毎月発行し、園内にも掲示しています。子どもにもわかる献立（ぱくぱくだより）があり、4・5歳児クラスに掲示しています。 ・年間を通して、体験給食を受け付けています。 ・毎日、給食とおやつサンプルを展示し、その横に人気のレシピを置いて家庭でも作れるようにしています。 ・午睡・休息は発達や日々の子どもの状況に応じて対応しています。眠りにつきにくい子に対しては、周りについたてをしたり、刺激の少ない場所を設定したり、眠れない子に配慮して無理に寝かせず、静かに過ごして疲れを取るようにしています。5歳児クラスは、小学校への入学を考慮し、年明けに午睡を減らしています。（午睡しない時は、休息を取れるようにしています） ・SIDSのチェック表を活用しています。（一歳児10分、二歳児30分単位） ・排泄は季節や個人差などを考慮して、家庭と連携してトイレトレーニングを進めています。乳児はオムツを確認し、その状況を把握し、連絡帳や口頭で保護者にも伝えていきます。

<p>Ⅱ－２ 健康管理・衛生管理・安全管理 [健康管理]</p> 	<p>[健康管理]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康管理のマニュアルにもとづき、毎朝、問診や視診によって子どもの健康状態をチェックしています。 <p>子どもの健康管理に関しては連絡帳で保護者とやりとりをしているほか、登降園時に口頭でもやりとりをしています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康台帳と歯科検診の記録簿があります。 <p>健康診断は春・秋の年２回、歯科検診は年１回、嘱託医が診察しています。成長の記録および歯科検診の受診結果を保護者に伝えていきます。</p> <p>更に、身体測定の結果を成長曲線に記入し、発達の気になる子どもを保育士が把握しています。なお、保護者から相談があれば、嘱託医の受診を薦めています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感染症が発生した際には掲示板に貼り出し、保護者への告知を徹底しています。感染症の疑いや発熱などで保育が継続できない状況の場合、部屋を別にして待ち、保護者への引き渡しを行っています。
<p>Ⅱ－２ 健康管理・衛生管理・安全管理 [衛生管理]</p> 	<p>[衛生管理]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・衛生管理マニュアルは年度ごとに職員参加により見直し、必要に応じて改定をしています。 <p>清掃の仕方のマニュアルが流しとトイレに貼ってあるとともに、マニュアルつきの嘔吐物処理セットを用意しています。</p> <p>清掃確認票により、毎日衛生状態の確認を行っています。更に、トイレは日中と夕方の２回清掃しており、月に１度は糞の子を上げて掃除をします。</p>
<p>Ⅱ－２ 健康管理・衛生管理・安全管理 [安全管理]</p> 	<p>[安全管理]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全管理に関するマニュアルが整備されており、役所への緊急連絡票も用意されています。 <p>転倒防止が必要な場所には安全対策が施されています。通報訓練を実施するとともに、地域への避難も同時に行っています。また、避難訓練の記録をとっています。</p> <p>園で救急法の研修を開き、AEDの扱い方や心肺蘇生法を職員全員が参加して身につけています。更に、災害対策で隣接の中学校と連携し、津波対策としても隣のマンションに避難できるよう連携しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事故対応マニュアルを改訂し職員に周知しています。 <p>毎日のミーティングでケガの報告を行うとともに、保護者への対応や今後の対策を明確に周知しています。入園の案内の時に保護者に事故対応の基本を伝えていきます。医療機関の電話番号などの情報が一覧表になっているほか、災害伝言ダイヤル171を利用して保護者に呼びかけることにしています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「不審者対応マニュアル」があり、不審者対応訓練を定期的に行っています。正門は電子錠になっており、インターフォンで名前を確認のうえ開錠しています。警備保障会社と契約し、日中や夜間も警備が行われています。園内では不審者侵入時の合言葉が決められており、速やかに連絡できるとともに園児の安全を確保するようにしています。

Ⅱ－３ 人権の尊

重



・一人ひとりの子どもの人権を尊重し保育を行っています。
子どもの名前を呼ぶときには呼び捨てにしないことを全職員で確認しています。
人権研修に参加して学んだことを、職員に研修報告としてミーティングや回覧で伝えています。
なお、子どもとじっくり話をしたいときには、場所に配慮しながら、一人の職員が時間をとって子どもの心を受け入れるようにして対応しています。
・保護者と個別の話が必要な時は、職員室の出入りを制限して、場所を確保しています。また、他の子どもと離れてクールダウンが必要な場合にも、回廊のスペースや事務室などを使用しています。
・個人情報については、園長が職員を対象に園内研修を行っています。新職員・アルバイト職員の採用時にも園長が説明しており、ボランティア・実習生についても守秘義務について説明をしています。
個人情報に関する書類は書庫にしまうことにしており、使用しないときには鍵をかけるようにしています。デジタルカメラ・SDカード・パソコンなども鍵付きの書庫に管理保管しています。
写真撮影については保護者の了解を得て行い、個人情報の保護には十分に配慮しています。
・遊びや行事の役割、持ち物、服装などについて、性差なく好みに応じて選択できるようにしています。
また、名簿は性別でなく生年月日順に作成しています。
職員は毎年人権研修の報告などを通じて全職員に人権の尊重や性差などについて固定観念を持たないように確認し合っています。

Ⅱ－４ 保護者と の交流・連携





・懇談会で保育の柱（保育の基本方針）について保護者に配布し説明するとともに、欠席者にも配布し個別に説明しています。また、クラス懇談会を年に2回（5月と2月）開催しています。
「園だより」で毎月の保育のポイントを掲載して園の考えを伝えるようにしています。意見箱を設置し保護者からの意見を聞きやすくしています。
・子どもの送迎時に保護者との情報交換をしやすいように環境を整えるなど配慮しています。
乳児クラスではクラスノートのほか、個人ノートでその日の子どもの様子を伝えています。また、引き継ぎノートで引き継ぎをしっかりと行っています。年に1回期間を設けて個人面談を行っています。更に、希望があれば随時にも面談を行っています。年に2回クラス懇談会を実施する中で保護者の保育士体験を行い、園の様子をみてもらう取り組みも行っています。
・個人面談は事務室を使用し、他者が入らないように配慮しています。
職員は臨床心理士の助言を受け、保護者対応に役立てています。
相談を受けた職員は面談の内容を記録し、主任・園長に報告をするとともに、保護者の相談の記録は、園長や担任が変わっても引き継げるように特記事項として別紙に記載しています。
・毎月の初めに「園だより」を発行し、保護者に配布するとともに、各保育室にも掲示して情報提供を行っています。また、クラスごとにクラスノートにその日の保育の様子を記入しています。なお、乳児クラスは個人ノートにも様子を細かく記入しています。
更に、年2回のクラス懇談会では、パワーポイントや写真などを用いて工夫して資料を作成し、わかりやすく説明しています。
・保護者の保育参加については、年度初めに年間行事予定表の配布、「園だより」やクラス掲示等でも知らせています。クラス懇談会に不参加だっ

た保護者には、個別に直接話をしてしています。なお、保育参加週間だけでなく、年間を通して保育参加を受け入れています。




- ・保護者会を保育室で行えるように場所の提供をしています。

保護者会には園長が参加し意見交換をしています。また、クラス懇談会の際に保護者会で話し合う時間を提供しています。保護者会主催の行事にも職員が参画し、行事内容の確認や打合せなど運営協力をしています。


評価領域Ⅲ 地域支援機能



評価分類	評価の理由(コメント)
<p>Ⅲ－１ 地域のニーズに応じた子育て支援サービスの提供</p> 	<p>・育児講座などについては、参加者の要望に応じて、定員を超えてもできる限り受けるようにしています。また、公園の掲示板にチラシを貼るなど幅広く情報を提供しています。更に、園庭開放に来られた方に育児支援事業参加のお誘いをしています。</p> <p>「ほっとサロン(釜利谷地区子育て広場)」、「とことこ」などの関係機関に職員が出向き、育児支援を通して地域の子育てニーズを把握しています。また、随時、地域住民に対する育児相談を受け付けています。</p> <p>・園庭開放、交流保育、体験給食、育児講座等は年間で計画し、実施しています。また、毎月の地域誕生会に対する参加者の期待は高いので、継続的に取り組んでいます。更に、「すくすく広場」「ほっとサロン」などの地域の子育てサークル等に参加しています。</p>
<p>Ⅲ－２ 保育所の専門性を活かした相談機能</p> 	<p>・大川公園の掲示板に園の情報を掲示するとともに、「園だより」を地域の方に配布して、地域住民に対して情報提供を行っています。また、園庭開放などを通して随時、育児相談を受け付けています。</p> <p>・関係機関一覧表を作成しており、関係機関との連絡は原則として園長が行っています。区のこども家庭支援課や横浜南部療育センター等の関係機関との連携ができています。</p>

評価領域Ⅳ 開かれた運営



評価分類	評価の理由(コメント)
<p>Ⅳ-1 保育所の 地域開放・地域コ ミュニティへの働き かけ</p> 	<p>・当園を知ってもらうため、パンフレットを区役所等に置いています。また、近隣に「園だより」を配布しています。</p> <p>近隣の施設に出向き、子どもたちが歌ったり踊ったりして交流するなかで関係を構築しています。更に、小中高との連携を図り交流や職場体験、ボランティアなど積極的に受け入れています。</p> <p>・散歩を積極的に保育に活用し、区の自然や文化に親しめるようにしています。地域の保育園と3園・4園での交流を定期的に行っています。また、地域への散歩に積極的に出かけ、地域の子どもと交流しています。更に、近隣の老人施設やケアプラザとの交流も行っています。なお、年長クラスは就学前に学校訪問をする機会をつくっています。</p>
<p>Ⅳ-2 サービス 内容等に関する情 報提供</p> 	<p>・区役所の広報やホームページに当園の育児支援内容などの情報を載せています。また、「園だより」を近隣の小中高に配布し、情報提供を行っています。</p> <p>・見学は、利用希望者の都合に合わせて随時受け付けています。また、予約なしで見学に来られた方にも、できる限り対応しています。</p> <p>見学の方には園のパンフレットを渡し、園長または主任が丁寧に案内とサービス内容の説明をしています。</p>
<p>Ⅳ-3 ボランテ ィア・実習の受け入 れ</p> 	<p>・ボランティア受け入れはマニュアルにもとづき、主任が担当しており、受け入れ時の記録が整備されています。職業体験やボランティア受け入れ時には反省会を行い、感想を聞き、園の運営に反映させています。</p> <p>・実習生受け入れについてマニュアルにもとづきオリエンテーションを必ず行います。実習の目標を設定するとともに、最終日ごろに反省会を行います。保育士は実習のねらいや視点を考え、実習生と日々の振り返りをします。</p>

評価領域Ⅴ 人材育成・援助技術の向上

評価分類	評価の理由(コメント)
<p>Ⅴ-1 職員の人 材育成</p> 	<p>・子ども的人数に応じた職員数が配置されており、園運営に適正な人材構成となっています。</p> <p>職員は、その年の目標を設定し、達成するよう努力しますが、年度途中や年度末に再度面接し達成状況を確認し次につなげています。また、バランスのとれた人材を目指して、横浜市人材育成ビジョンに沿って積極的に研修に参加するようにしています。</p> <p>・研修は参加希望をとるほか、研修受講計画に沿って必要と思われる者が参加しています。</p> <p>受講者は必ず職員に受講内容を報告し全員のものとなるようにしています。</p> <p>・クラス担任は正規職員が1人以上配置され、非常勤職員と組んで保育を行っています。非常勤職員は、保育課程や指導計画・デイリープログラム</p>

	<p>をもとに正規職員と一緒に保育の向上を図っています。また、主任・フリー・クラスの正規職員が保育の相談援助・指導を行っています。</p>
<p>V-2 職員の技術の向上</p> 	<p>・横浜市人材育成ビジョンを目安に自分の目標設定をしています。目標共有シートでは園長と面談のうえ個々の課題を設定し、職員意識の向上に努めています。</p> <p>南部療育センターから巡回指導を受けています。また、区の障害児研修に職員が参加して学んでいます。更に、給食に関しては横浜市の栄養士の訪問指導を受けています。</p> <p>・保育計画の書式に自己評価欄があり、毎月、保育の振り返りをして記入しています。また、日誌においても毎日の記録とともに自己評価を行い、今後の保育に向けた省察を行っています。</p> <p>なお、月の計画は前月の自己評価と保育の振り返りを踏まえて立てるようになっています。</p>
<p>V-3 職員のモチベーションの維持</p> 	<p>・目標共有シートを作成し、園長と面談（指導助言を含む）のうえ年間の目標を設定し業務に繋げています。なお、年末には振り返り面談を行っています。</p> <p>・職員（保育士・福祉員・非常勤職員）から業務改善の提案や、アンケートなどを実施しています。これをもとに必要に応じて園長面談を行います。</p>

評価領域VI 経営管理

評価分類	評価の理由(コメント)
<p>VI-1 経営における社会的責任</p> 	<p>・職員行動基準が一人ひとりに配布され、いつでも見られるようにしています。万一、事件・事故が起きた時にはミーティング・会議・回覧などで報告するようにしています。更に、個人情報の取扱いについては、研修や自主点検を行っています。</p> <p>・環境への配慮として、各クラスに分別ゴミ箱（プラゴミ・ミックスパー・燃やすゴミ）を置いています。更に、節電・節水を呼びかける掲示をしています。また、室内の温度は季節ごとの目安温度を設定し省エネを実施しています。</p>
<p>VI-2 施設長のリーダーシップ・主任の役割等</p> 	<p>・園の保育課程を全職員に配布し、保育園の理念・基本方針を職員に周知するとともに、園長会・エリア別園長会・全体園長会に出席して重要な情報を収集し、園内の会議で報告しています。</p> <p>・園の重要事項の決定については、時間をかけ職員とともに検討のうえ決定しています。保護者には、重要事項の意思決定や変更があったときには、その目的・理由・経過をていねいに説明しています。</p> <p>・現在、主任はスーパーバイザーとして①職員の勤務状況や仕事の状況を的確に把握し、調整・助言②フリー職員とともに仕事の分担をし、進行状況も把握③健康面で心配な職員に対して声かけ調整④職員の事情を把握し、予定・休憩時間の調整などを行っています。</p>

VI-3 効率的な

運営



- ・園長会などで必要な情報を得て、会議やミーティングの場を利用して職員に報告しています。また、第三者評価の自己評価作成において、昨年度より課題を見つけ討議することで改善実践すべきことがらを職員全体で認識することができています。
- ・中長期的な計画は横浜市の事業計画に沿って進めていきます。目標共有シートの振り返りや人事考課面談を通して、園運営の意識を高めていけるよう職員に働きかけています。

利用者家族アンケート

利用者アンケート結果の特徴

◇調査対象調査時点での在園児数71名、全保護者58家族を対象とし、回答は55家族からあり、回収率は94.8%でした。◇調査方法評価機関で準備した「家族アンケート用紙」を、保育園から保護者に直接手渡して、無記名にて記入していただき、クラスごとに密封のままの状態の評価機関が回収しました。◇総合満足度肯定的な回答は96.4%（満足67.3%、どちらかといえば満足29.1%）と高い評価を得ており、否定的な回答は3.6%でした。◇肯定的意見の比率が特に高かった（90%以上）項目は34項目であり、なかでも100%の項目は下記のとおりです。

- 1) あなたは、その保育目標や保育方針は賛同できるものだと思いますか。
- 2) 園の目標や方針についての説明については
- 3) 自然に触れたり地域に関わるなどの、園外活動については
- 4) 遊びを通じたお子さんの健康づくりへの取り組みについては
- 5) 昼寝や休憩がお子さんの状況に応じて対応されているか
- 6) お子さんが落ち着いて過ごせる雰囲気になっているか

◇その他1)アレルギーのあるお子さんや障害のあるお子さんへの配慮については肯定的意見の比率は61%で、「その他」「無回答」が他の質問項目に比べると比較的高くなっています。その理由としては、お子さんがアレルギーなどに該当しない場合もあるからと考えられます。

■ 保育園の基本理念や基本方針について

問1 あなたは、この園の保育目標・保育方針をご存知ですか。	よく知っている	まあ知っている	どちらともいえない	あまり知らない	まったく知らない	無回答	計
(人)	22	28	3	2	0	0	55
(%)	40.0%	50.9%	5.5%	3.6%	0.0%	0.0%	100.0%

(付問) あなたは、その保育目標や保育方針は賛同できるものだと思いますか。	共感できる	まあ共感できる	どちらともいえない	あまり共感できない	まったく共感できない	無回答	計
	46	4	0	0	0	0	50
	92.0%	8.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%

■ 保育園のサービス内容について

問2 お子さんが入園する時の状況について

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
見学の受け入れ方については	43	8	0	0	4	0	55
	78.2%	14.5%	0.0%	0.0%	7.3%	0.0%	100.0%
その他							
入園前の見学や説明など、園からの情報提供については	42	11	0	0	2	0	55
	76.4%	20.0%	0.0%	0.0%	3.6%	0.0%	100.0%
その他							
園の目標や方針についての説明については	44	11	0	0	0	0	55
	80.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
その他							

入園時の面接などで、お子さんの様子や生育歴などを聞く対応については	41	13	0	0	1	0	55
	74.5%	23.6%	0.0%	0.0%	1.8%	0.0%	100.0%
	その他						
保育園での1日の過ごし方についての説明には	40	13	2	0	0	0	55
	72.7%	23.6%	3.6%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	その他						
費用やきまりに関する説明については (入園後に食い違いがなかったかを含めて)	40	14	1	0	0	0	55
	72.7%	25.5%	1.8%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	その他						
問3 保育や行事の年間計画について							
	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
年間の保育や行事の説明については	37	14	3	0	1	0	55
	67.3%	25.5%	5.5%	0.0%	1.8%	0.0%	100.0%
	その他						
年間の保育や行事に、保護者の要望が活かされているかについては	28	23	2	1	1	0	55
	50.9%	41.8%	3.6%	1.8%	1.8%	0.0%	100.0%
	その他						
問4 日常の保育内容について							
「遊び」について							
	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
クラスの活動や遊びについては (お子さんが満足しているかなど)	39	14	1	1	0	0	55
	70.9%	25.5%	1.8%	1.8%	0.0%	0.0%	100.0%
	その他						
子どもが戸外遊びを十分しているかについては	42	11	0	1	1	0	55
	76.4%	20.0%	0.0%	1.8%	1.8%	0.0%	100.0%
	その他						
園のおもちゃや教材については (お子さんが自由に使えるように置いてあるか、年齢にふさわしいかなど)	40	13	1	0	1	0	55
	72.7%	23.6%	1.8%	0.0%	1.8%	0.0%	100.0%
	その他						
自然に触れたり地域に関わるなどの、園外活動については	42	13	0	0	0	0	55
	76.4%	23.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	その他						
遊びを通じて友だちや保育者との関わりが十分もてているかについては	41	11	2	0	1	0	55
	74.5%	20.0%	3.6%	0.0%	1.8%	0.0%	100.0%
	その他						

遊びを通じたお子さんの健康づくりへの取り組みについては	37	18	0	0	0	0	55
	67.3%	32.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	その他						
「生活」について							
	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
給食の献立内容については	39	12	2	1	1	0	55
	70.9%	21.8%	3.6%	1.8%	1.8%	0.0%	100.0%
	その他						
お子さんが給食を楽しんでいるかについては	35	18	1	0	1	0	55
	63.6%	32.7%	1.8%	0.0%	1.8%	0.0%	100.0%
	その他						
基本的な生活習慣(衣服の着脱、手洗いなど)の自立に向けての取り組みについては	39	14	2	0	0	0	55
	70.9%	25.5%	3.6%	0.0%	0.0%		100.0%
	その他						
昼寝や休憩がお子さんの状況に応じて対応されているかなどについては	40	15	0	0	0	0	55
	72.7%	27.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	その他						
おむつはずしは、家庭と協力し、お子さんの成長に合わせて柔軟に進めているかについては	34	14	4	0	3	0	55
	61.8%	25.5%	7.3%	0.0%	5.5%	0.0%	100.0%
	その他						
お子さんの体調への気配りについては	40	14	1	0	0	0	55
	72.7%	25.5%	1.8%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	その他						
保育中であつたケガに関する保護者への説明やその後の対応には	41	10	2	1	1	0	55
	74.5%	18.2%	3.6%	1.8%	1.8%	0.0%	100.0%
	その他						

問5 保育園の快適さや安全対策などについて							
	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
施設設備については	34	20	1	0	0	0	55
	61.8%	36.4%	1.8%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	その他						
お子さんが落ち着いて過ごせる雰囲気になっているかについては	40	15	0	0	0	0	55
	72.7%	27.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	その他						
外部からの不審者侵入を防ぐ対策については	29	23	2	1	0	0	55
	52.7%	41.8%	3.6%	1.8%	0.0%	0.0%	100.0%
	その他						
感染症の発生状況や注意事項などの情報提供については	36	17	0	2	0	0	55
	65.5%	30.9%	0.0%	3.6%	0.0%	0.0%	100.0%
	その他						
問6 園と保護者との連携・交流についてうかがいます。							
	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
保護者懇談会や個別面談などによる話し合いの機会については	31	19	3	0	2	0	55
	56.4%	34.5%	5.5%	0.0%	3.6%	0.0%	100.0%
	その他						
園だよりや掲示などによる、園の様子や行事に関する情報提供については	35	19	0	0	1	0	55
	63.6%	34.5%	0.0%	0.0%	1.8%	0.0%	100.0%
	その他						
園の行事の開催日や時間帯への配慮については	38	15	2	0	0	0	55
	69.1%	27.3%	3.6%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	その他						
送り迎えの際、お子さんの様子に関する情報交換については	33	14	4	4	0	0	55
	60.0%	25.5%	7.3%	7.3%	0.0%	0.0%	100.0%
	その他						
お子さんに関する重要な情報の連絡体制については	34	14	4	2	1	0	55
	61.8%	25.5%	7.3%	3.6%	1.8%	0.0%	100.0%
	その他						

保護者からの相談事への対応には	31	18	0	4	2	0	55
	56.4%	32.7%	0.0%	7.3%	3.6%	0.0%	100.0%
その他							
開所時間内であれば柔軟に対応してくれるなど、残業などで迎えが遅くなる場合の対応については	36	10	4	1	4	0	55
	65.5%	18.2%	7.3%	1.8%	7.3%	0.0%	100.0%
その他							

問7 職員の対応についてうかがいます。

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
あなたのお子さんが大切にされているかについては	42	8	2	2	1	0	55
	76.4%	14.5%	3.6%	3.6%	1.8%	0.0%	100.0%
その他							
あなたのお子さんが保育園生活を楽んでいるかについては	40	13	2	0	0	0	55
	72.7%	23.6%	3.6%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
その他							
アレルギーのあるお子さんや障害のあるお子さんへの配慮については	35	13	2	0	5	0	55
	37.3%	23.7%	1.7%	1.7%	30.5%	30.5%	100.0%
その他							
話しやすい雰囲気、態度であるかどうかについては	39	12	1	3	0	0	55
	70.9%	21.8%	1.8%	5.5%	0.0%	0.0%	100.0%
その他							
意見や要望への対応については	33	16	2	2	2	0	55
	60.0%	29.1%	3.6%	3.6%	3.6%	0.0%	100.0%
その他							

問8 保育園を総合的に評価すると、どの程度満足していますか。

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	無回答	—	計
総合満足度は	37	16	0	2	0		55
	67.3%	29.1%	0.0%	3.6%	0.0%		100.0%

利用者本人調査（保育観察）

○1歳児

午睡から目覚めて、着替えが終わったところで元気に保育室の中を歩いたり遊んだりしていました。部屋の中へ入ると我々を見て「誰だろう？」と怪訝な顔をしていましたが、怖がる様子もなく、出る時には「バイバイ」と大きな声で手を振ってくれました。

○2歳児

部屋の中でそれぞれ思い思いの遊びに興じていました。おもちゃの自動車で遊んでいた子どもに近づくと、笑顔でおもちゃを見せてくれました。また、別の子どもは、プラスチックの小さな容器を重ねたり、並べたりして遊んでいました。何か自分なりの考えやイメージがあって形を作っているようでした。

○3歳児

午睡から目覚めた後でしたが、目覚めは良く、爽やかな表情でした。さっそく活動を開始し、みんなで折り紙遊びをしていました。慣れているようで手際よく作業を進めていました。壁には日頃の作品や写真が貼ってあり、子どもの成長ぶりや保育園での様子を実感できると思います。

廊下ですれ違った子どもに、「保育園楽しい？」と聞くと、楽しそうな表情で「うん、楽しい」と返事をしていました。

○4歳児

室内や廊下で本を読んだり、楽しそうにテーブルの上で積み木遊びをしていました。自分の好きな遊びを自由に選び、自然に楽しんでいるようでした。・別の子どもがおもちゃを手を持って近寄ってきて、を見せてくれましたが、獅子舞のお面でした。手にはめて口をパクパクできる作りになっていて、その動作をやってを見せてくれました。他人に自分の思いを訴えたり、何かを説明したりすることが自然にできるようでした。

○5歳児

配膳が済み、食事の前に当番の子どもが献立名を言い、「いただきます」の声掛けに続いて全員で復唱し食べ始めました。食事中的話題はテレビのアニメ番組や自分の家のこと、午前中の遊びについてなど、多くの事へと目まぐるしく変わり、頭の中は興味や関心事で溢れている様子が伝わってきました。部屋の中の遊具や絵本はきちっと整頓され、自分で片付けることなどの意識も身についていると感じられました。好きな遊びを尋ねると、「ドッジボール」と答えてくれました。好きな食べ物では、「カレー」が人気のようでした。いずれも大きな声で返事が帰ってきました。

事業者コメント

平成21年度に第三者評価を受審して以来、7年ぶりの受審となりました。前回の受審では高い評価を頂きましたので、その水準を保つことを大切に、保育を進めてきました。

28年度に再び受審することが決まったので、前年度よりプロジェクトを組み、まずは職員間で評価項目の読み合わせから始めていきました。7年の間に、職員の異動や保育制度の変化もあり、水準は保ててきたのか、今何が足りないのか、保育をどう捉えていったら良いのか、等話し合いの時間も作りました。職員全体で考えを共有する機会になり、課題点も見えました。

保育の根拠となるマニュアルは、より分かりやすく、使いやすさにも視点を置いて整理し直しました。また、評価項目に沿って、具体的な取り組みなども出し合い、保育の振り返りにも繋げる事ができました。

訪問調査では、評価委員によるヒヤリングがありました。保育士が楽しそうに保育を語る姿に、評価委員の方も共感して下さり、子どもたちの成長を願う方向性は職員みな一緒であることを改めて再認識できました。

保護者の皆様にはお忙しい中、アンケートにご回答いただきありがとうございました。自由記載欄での貴重なご意見につきましては、今後の課題として受け止め、改善できることから早速実行して

います。子どもたちの成長は、保育園だけで担えるものではありません。保護者の方にご理解していただき、共に歩いていくことが大切と考えていますので、様々な情報をどう発信していくか、今後も工夫していきたいと思えます。

最後になりましたが、今回の受審にあたり、ご協力くださいました保護者の皆様、評価機関の皆様に、心より感謝申し上げます。

釜利谷保育園 園長 猪熊 祐子